



## 学校評価（令和 7 年度前・後期）の結果について

2学期末に行ったコミュニティ・スクール運営診断アンケートの結果をお知らせします。

今回も全対象者（児童・保護者・学校運営協議会委員・教職員）からご回答いただきました。児童、保護者の肯定率と、全てのアンケート結果より考察したことをまとめています。いただいたご意見は今後の教育活動に生かしていきます。ご協力、ありがとうございました。

重点 取組 事項	質問内容	児童（25名）			保護者（20家庭）			考察（成果と課題、改善策等）
		前期肯定率 （％）	後期肯定率 （％）	推移	前期肯定率 （％）	後期肯定率 （％）	推移	
確かな 学力	1 分かる授業	88	92		96	84	△	△「分かる授業」については、保護者の評価が下がっている。学年末に向けて復習を行い、学習内容の定着を図っていききたい。 △「話す・聞く」については、児童、保護者ともに評価が下がっている。話し方や聞き方の指導を継続していききたい。 ○「家庭学習」についての保護者の評価は年々伸びが見られる。「ヤッホーWeek」など、家庭と連携した取組を今後も継続していくことで、家庭学習の習慣化を図っていく。 ○読書郵便などを通して家庭への働きかけを継続していくことで、「読書」についての保護者の評価は年々伸びが見られる。今後も、働きかけを工夫していくことで、家庭での読書時間を少しでも増やしていけるとよい。
	2 話す・聞く	96	92		91	84	△	
	3 かかわりあいを通して、学び、深める（考える子）	96	96		100	96		
	4 家庭学習への取組	92	88		88	92		
	5 チャレンジ目標「すすんでどくしょ」	84	80		67	64		
豊かな 心	6 あいさつ	96	96		100	96		○「あいさつ」については、児童、保護者ともに年々伸びが見られる。高学年児童が中心となって進めている「あいさつプロジェクト」により個々の姿に変容が見られるようになってきている。 ◎「きまりを守り、協力し合う」についての児童の評価に伸びが見られる。けんかが減り、全校で楽しく遊べるようになってきたことを児童自身も実感できていることが感じられる。 △「仕事・掃除などへの取組」についての保護者の評価から、家庭での取組状況に差があることがうかがえる。 ○「互いのよさを認め、高め合う」「ぽかぽかこうどう」については、児童、保護者ともに評価が高い。相手の身になってかわかることのできる子どもの育成に引き続き努めていきたい。
	7 きまりを守り、協力し合う	80	92	◎	84	84		
	8 互いのよさを認め、高め合う	96	96		96	96		
	9 仕事・掃除などへの取組	92	96		83	76	△	
	10 チャレンジ目標「ぽかぽかこうどう」（思いやりのある子）	92	92		96	96		
健やかな 体・ 学校安全	11 学校生活の楽しさ	80	80		100	92	△	△「学校生活の楽しさ」については保護者の評価が若干下がっているが概ね良い評価である。児童については、引き続き見守り、一人一人の声に耳を傾けていきたい。 ◎「体力向上」については、「おうちで運動」の継続や、休み時間の全校遊びや運動チャレンジなどの取組により、意識化が図られてきている。寒くても、外遊びを楽しむ児童が多い。 △「にがてにチャレンジ」については、若干評価が下がっている。個々でめあてを決め、取り組んでいく姿を応援していきたい。 ○「生活習慣」「メディア利用」については、大きな変化はない。情報モラルについては、柳中校区で統一して、発達段階に応じた指導に取り組んでいるところである。
	12 体力向上	84	92	◎	88	92		
	13 生活習慣	88	92		96	96		
	14 メディア利用	84	80		88	84		
	15 チャレンジ目標「にがてにチャレンジ」（実践する子）	88	80	△	92	88		
連携 教育	16 地域に根ざした教育活動	100	100		100	96		○「地域学習」「他校との連携」については、引き続き高い評価である。子どもたちに、地域への愛着や感謝の気持ちが育ってきている。 ◎「情報発信・情報共有」については、いただいた意見をもとに改善に努めてきた。
	17 地域・他校との連携	96	100		100	96		
	18 情報発信・情報共有				87	92	◎	

推移は 5%以上プラスを◎ 5%以上－を△ としています。